

つえつきとうげ
杖突峠

展望すばらしい峠

伊那市高遠町と茅野市の境界にある峠。標高1,247m。国道152号が通っている。杖突峠の西南西に位置する「守屋山」は諏訪大社のご神体であり、かつてこの峠では神降ろしの儀式が行われていた。降りてきた神がはじめてその杖を突く場所がこの峠であるとされたことから、杖突峠という名がついたとされる。



八ヶ岳連峰、蓼科山・霧ヶ峰、美ヶ原 眼下には諏訪湖も臨むことが出来る(峠の茶屋より)



本来の峠は、高遠側のゆるい坂を少し下ったところが境界線となっていてその場所にはかつて茶屋があった(守屋山登山口付近) この場所からの展望は開けてはいない



昭和7年に車道が開通し、現在展望台のある場所に「峠の茶屋」が造られ、ここを峠と呼ぶようになった

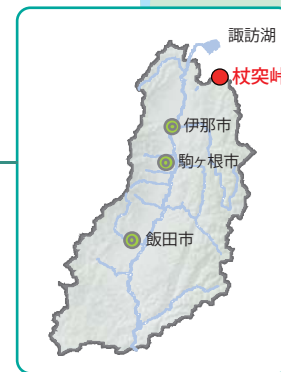
information

□ アクセス

諏訪湖ICから10Km
車→20分

□ 所在地

伊那市高遠町～
茅野市



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)

杖突街道

高遠～杖突峠～諏訪大社上社を結ぶ街道。戦国期の軍用路として、江戸期には年間6000駄の物資を運ぶ中馬道として、さらには諏訪大社や秋葉山への信仰の道であった。古い面影を残す風情ある街道筋。

急カーブの先に

諏訪側から峠に入る道はカーブの多い急斜面。糸魚川-静岡構造線の断層崖のためであるが、道中、カラマツ林が続き、芽吹きや紅葉の頃は特に美しい。登りきって「七曲」付近の展望台(峠の諏訪側1km「峠の茶屋」位置)から見る眺望は絶景である。